This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)

JA 0037988 MAR 1984

84-091546/15 F07 SAOL 00.00.8 SANYO ELECTRIC KK *15 9037-988-7 09.05.79-JP-056685 (+ JP-121887) (01.03.84) D06f-33 '02	
Automatic washing machine - includes microcomputer storing available and selected washing programmes and control keyboard	
C84-038829	
The micro-computer reduces labour in providing a washing programme and ensures safe operation even with mis-setting of the computer. The computer includes a circuit for storing several standard washing programmes and circuit for storing selected or changed washing programmes and keyboard, which has numerical keys for selecting desired standard washing programme and changing the washing time and dewatering time, and a start key for starting the washing machine according to the stored information. When depressing the start key without selecting a programme, the machine starts according to a specific standard programme. (hpp Dwg.No.6/10)	

THIS PAGE BLANK (USPTO)

19 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

型公開特許公報(A)

昭59-37988

⑤Int. Cl.³ D 06 F 33/02 識別記号

庁内整理番号 2 8119-4L 砂公開 昭和59年(1984)3月1日

発明の数 1 審査請求 有

(全 11 頁)

日全自動洗濯機

21特

⑫発

願 昭58-121887

②出 願 昭54(1979)5月9日

ᡚ特 願 昭54−56685の分割

明 者 森重正克 守口市京阪本通2丁目18番地三

洋電機株式会社内

心発 明 者 前田雅彦

守口市京阪本通2丁目18番地三

洋電機株式会社内

①出 願 人 三洋電機株式会社

守口市京阪本通2丁目18番地

明 細 整

1. 発明の名称 全自動 洗濯機

2. 特許請求の範囲

8. 発明の群組な説明

本発明はマイクロコンピュータを組込んだ洗濯

機に関し、高度な制御を簡単に行なえるようにし たものである。

従来例としてはマイクロコンピユータを組込んだドライクリーナがある。これはあらゆるコースの工程を単一化し、これらを使用者の所望どうりに傾に並べて洗濯コースを作るものであり、この所望の洗濯コースを複数個設け、どれかを洗濯して使用するようにしている。

しかし、この従来例では所望のコースを1つずつ作るのであるから、そのためにファンクションキーと数字キーを何回も操作する必要があり、操作が煩雑である。また、コース作成中に誤つてスタートキーを操作すると、中途はんばな洗剤が実行されるので後の処理に困る。また、コース作成後にしても、超療投入後の最初に誤つてスタートキーを操作すると、何等行程が進行せず、直ちに気付けば良いが気付かなければ使用者が故障と見間違い、サービス要請が徒らに増加するのであった。

本発明は必要な標準洗濯コースを予め複数個用

意しており、コース作成の手間を楽しく改善している。また、闘つてスタートキーを操作しても、例えば最も一般的な1個の標準洗過コースを実行するようにしているので、使用時間を徒らに空費する恐れが無く、また衣類に対しても安全な洗魔を実行できるものである。

政下本発明を図に暴いて説明すると、(川は洗瓶物を出し入れするドアーで、底ドアを閉じてハンドル(2)をロックした時にドアスイッチ(2)が閉じるようにしている。(川は制御パネルで、飛パネルには、第4図に示すような表示装置(5)、第5図に示すような各種スイッチ(0)を有している。メインスイッチ(8)を「入」にすると電源トランス(9)に通じて各部に選圧が加えられ、動作を開始する。マイクロコンピュータの以イニシャル回路(12の働きにより、読出出し専用メモリ(以下ROMという)(13の特定の番地より選輯を開始する。0.01はROM(3)からの読出し用ドライバー。マイクロコンピュータの10の出力ポート(C)(D)は、発光

ザー回路で、キーボードスイッチ(6)の操作時及び運転終了時に鳴動するものである。整形回路Q9は 電源トランス(9)より伝達される脳用周波数のタイムペース信号(TB信号)を波形整形してマイクロコンピュータQDに伝達するもので、マイクロコンピュータはこの信号をもとにして洗稲時間や脱水時間をカウントする。 LO回路Q8は、マイクロコンピュータQD内のプログラムを進行させるためのクロック発信回路用である。

表示質03及び発光ダイオード06にセグメント信号 を供給する。セグメント信号の組合わせによつて 必要な数字を表示するのである。また出力ポート (図(1)は、ドライバー回路000を通じて前記表示管05/ に通電し、前記セグメント信号と共同してこの表 示管に時間や水温を表示すると共に、ドライベー 回路08を通して前記発光ダイオード08に通電し、 前記セグメント信号と共同してこの発光ダイオー ドを点灯して洗濯のコースを表示する。又この出 力ポート(E)(I)から出る信号は、キーボードスイク チ(6)、各種スイッチ20人び温度測定回路20分を走査 する。更にWは、前記キーポードスイッチ(6)から の信号を読み込む入力ポート、(B)は、温度測定回 路QD及び各種スイッチODからの信号を読込むと共 に、タイマ回路22から出る信号をゲート回路23を 通して読込むための入力ポートである。(H)は出力 ポートで、その信号はテコード回路のでデコード されて出力回路20に伝達される。(F)も出力ポート で、その信号は直接出力回路20に伝達される。四 はブザー回路で、異常時に鳴動する。切は他のブ

脱水モータ4月は、電磁接触器(MS-4)切の 接点(51)(52)(53)が閉じてここから 電流を供給された時に4個となり、中速脱水用に 使用される。また前記接点(51)(52)(5 3)が開き、電磁接触器(MS-5)(6D)の 接点(54)(55)(56)が閉じてここから 電流が供給され、且つ接点(57)(58)(5 9)が閉じた時は2極となり、高速脱水用に使用 される。また本実施例では、洗濯水を加熱するた めの蒸気弁(63)、のり付けをするためののり 付け弁(64)、洗剤を密かすための洗剤弁(6 5)、温水を供給するための温水弁(66)、冷 水を供給するための冷水弁(67)、排水弁(6 8)、更に前記洗濯モータ30と脱水モータ(49)から洗濯ドラムへ動力を伝達するためのクラッ チを作動するトルクモータ(69)を備えている。 第3図はマイクロコンピュータ(D)の構成要素を 示している。キーボードスイッチ(6)や温度測定回 路印からの入力信号、あるいは給水や排水用等の 各種スイッチ201からの入力信号は、入力制御部(

特別昭59-37988(3)

يَوْ أَرِينِي مِن السَّالِينِ مِن السَّالِينِ مِن السَّالِينِ مِن السَّالِينِ مِن السَّالِينِ مِن السَّالِينِ

7 1)を通じてデータ 管込みメモリ(R A M) (7 0)に格納される。プログラムカウンタ(7 2)は、プログラムが格納されている番地を指定し、プログラムを順次実行するためのカウンタである。 演算部 (7 3)は R A M (7 0)に格納された データを比較したり、加算・減算等の演算を行う。 制御部 (7 4)はマイクロコンビュータ内の冬

制御部(74)はマイクロコンピュータ内の各部の動作をコントロールする。出力制御部(75)は優光表示管159や発光ダイオード150からたる表示装置(5)、及び出力回路200への出力信号を制御する回路である。なおROM130には、第1表に示す三つの機準洗剤コースが記憶されている。

第4図は表示装置の詳細図で登光表示管的は上位2桁が時間表示部(15°)、下位2桁が水温表示部(15°)、下位2桁が水温表示部(15°)で失々の内容を数字で表示するようにしている。(15°)は運転表示用の発光ダイオードで前記マイクロコンピュータ別が時間計劃を行つている間は1秒周期で点装し時間計劃をしていない給水中等は連続的に点灯しばインスイッチ(8)を切つた時には消灯するようにしている。また発

するものである。スイァチ(86)~(90)は 天々蒸気弁(63)・給水弁(67)・排水弁(68)・洗剤投入弁(65)・切り付け弁(64))を手動で動作させるためのものである。

次に本実施例の動作について説明する。 電原ライン (91) (92) (93) を3相電源に接続する。

電原電圧に含まれているサージはバリスタ(94)(95)(96)で吸収され、メインスイッチ(8)を入れるとサージ電圧を含まない電圧が電源トランス(9)を通して供給され、電源同路ので夫々-5(V)、-10(V)、-30(V)の定電圧化された値流電圧と、優先表示電の用2.5(V)の交流電圧と、時間カウント用のタイムペース信号(TB信号)が発生する。

同時に発光ダイオード(15c)が点灯して電源が入つたことを表示する。マイクロコンピュータの以は、イニシャル回路のの働きにより、ROMの3の特定番地より運転を開始する。マイクロコンピュータの以は、まず50Hzと60Hzの切換ス

光ダイオード (76)~(81) は洗濯・すすぎ等の行程表示を、発光ダイオード $(82\degree)$ ~ $(82\degree)$ ~ $(82\degree)$ は洗濯物の種類に応じて選ばれた標準洗濯コースを表示し、更に他の発光ダイオード (83)~(85)は特殊行程の洗濯を表示する。前記行程表示用発光ダイオード (76)~(81) は相当する行程が終了すると順次俏灯するようにしてある。

第 5 図はキーボードスイッチ(6)の配置図である。このキーボードスイッチは、D~9の数字キー(1)と、洗濯時間・脱水時間・水温・すすぎ及びプログラムを設定するための五個のフアンクションキー(口)と、弱洗い、弱脱水、のり付け等の特殊洗濯を選択するキー(いと、手動運転時のドラム回転を命ずるキー(二と、脱水運転を命ずるキー(山と、洗濯コースを変えるための修正キー(こ、ストップキー(に)と、スタートキー(に)とより構成している。第 6 図はキーボードスイッチ(6)のマトリクス図

第7図は各種手動スイッチのの配置図である。 メインスイッチ(8)は制御回路への電源の入切を

である。

イッチ(97)を調べる。該スイッチが開いていれば6DHェ用、閉じていれば5DHェ用である。今6DHェ用になつているとする。次に蒸気ー温水切換スイッチ(98)の状態を調べる。 聞いておれば蒸気用であり、蒸気を使用して洗濁水を加熱することになる。 今蒸気用になつているとする。これ等の状態信号は入力ポート回を通じてマイクロコンピュータQD内に入り、入力制御部(71)を通してRAM(7D)の相当する場所に記憶される。

またマイクロコンピユータ(I)は、キーボードスイッチ(6)・各種スイッチ(2)及び温度側定回路(2)からの情報をRAM(70)の相当する場所に記憶する。次にマイクロコンピユータ(I)は、ROM(I)におらかじめ記憶してある三つの標準洗剤コースのうち、第1の標準洗剤コースをRAM(70)に移すと同時に、表示装置(5)のうち、ブログラム1の発光ダイオード(82°)と、洗濯から脱水の行程を示す発光ダイオード(76)~(81)を点灯する。

標準洗濯コースの内容は第1表に示すとうりで ある。

第1標準洗離コースを他の標準洗濯コースに変更する場合には、キーボードスイッチの「プログラム」キーと数字キー(イ)を押す。それを第8図のフローチャートに従つて説明する。プログラムキーを押すとマイクロコンピュータODは数字キー(イ)が押されるまでキー走査を行う。数字キーが押されると、まずそれが数字1であるか否かを判断する。数字2であれば、前記RAM(70)に記憶されていた第1標準洗濯コースの内容を第2標準洗濯コースに置き換える。この場合、数字キー(イ)は1、2、3のみが有効で、他の数字を押してもそれは無視する。

三つの標準洗濯コース以外の洗濯を行う場合にも、キーボードスイッチ(6)を使用する。例えばRAX(70)に第1標準洗濯コースが記憶されている時に 洗濯時間 - 1 - 15 と押すと、洗濯時間が15分にセットされる。その時螢光表示質の時

された標準洗濯コースの内容を変更することができるが、これ等のキーを操作せずに直接スタートキー例を操作すると、第1標準洗濯コースに沿って運転が行われる。

以下第1標準洗償コースをフローチャートに従 つて説明する。スタートキー団を操作すると、洗 剤弁(65)が開いて洗剤を洗濯ドラムに投入し 且つ冷水弁(67)が開いて給水する。この時間 時にトルクモータ(69)が回転し、クラッチが 働いて洗濯モータ頭の回転力がドラムに伝わり、 該ドラムは反転運転をする。低水位スイッチ(9 9)が作動すると冷水弁(67)が閉じる。これ と同時に優光表示管15には、祝福時間「25」分 と水温を表示する。水温は洗剤ドラムに設けられ たサーミスタ(100)の抵抗変化を、温度測定 回路ODでデジタル低に変換して、入力ポートIDLよ りマイクロコンピユータQD内に送り、RAM(1 D)に記憶して設定温度と比較したり盤光表示管 の水温表示部(15p)で表示したりする。低水 位スイェチ(99)が閉じて給水が停止されると

間表示部(15s)に15という数字が表示される。これは0~99分の間で自由にセットできる。なおこの数字は、スタートキー5分を押した後は1分毎に変更され、残り時間を表示する。

すすぎキーを押すと、すずぎ行程が無しの状態になつてすずぎ表示用の発光ダイオード(77)(78)(79)が消える。次に数字キー1~3を押す度にすすぎ1~3が追加され、それに応じて前記発光ダイオード(77)~(79)が再度点灯する。

脱水時間の変更は、<u>脱水時間</u>キーを使用して洗 磁時間の場合と同様に行い得る。

また水温も自由に変更できる。例えば、水温ー ④- 回と押せば、洗確時と第1回目のすずぎ時の 水温が40℃に変更される。水温は螢光表示管的 の下2桁で表示される。この温度も0~99℃の 範囲で自由にセットできる。

加熱を開始するが、低水位スイッチが開いたままの状態が10分続くと、螢光表示管の水温表示部(15 b)に B6・と表示すると同時にブザーを鳴らす。 B6・の意味は、第2表に示しているとうり、給水開始後10分程過しても低水位スイッチ(99)又は高水位スイッチ(108)が作動しないことを表示し、機構的には、このスイッチの故障あるいは給水系統や排水パルブの故障を意味している。

給水が完了すると蒸気弁(63)が開かれ、加熱が開始される。これと同時に1秒毎に水湿(Te)を測定し、設定値(Ts)に達するまで加熱を続ける。標準洗剤コース1の場合は、この設定値(Ts)は60℃である。

水温が60℃に達すると蒸気弁(63)が閉じられ、洗剤行程に入る。洗濯中はモータ601は、右回転12秒一休止2秒一左回転12秒という強反転を製返す。この時も水位が測定されており、規定水位以下になつて低水位スイッチ(99)が開いた時には、発光表示質15に・B5・と表示する

特開昭59- 37988(5)

と同時に、ブザーを鳴動せしめる。 * E 5 * の 投示は排水弁(68)の故職を態味している。また水温も1秒毎に測定されており、それが100℃以上になつて5秒間継続すると、優光表示質切に* E 1 * と表示すると同時にブザーを鳴動せしめる。 * E 1 * の表示は蒸気弁(65)の故職を意味している。測定温度(T =)が設定温度(T =)より4℃以上低くなると、蒸気弁(65)が再度開いて加熱が行われる。

個定温度(Ts)が設定温度(Ts)より10 で以上高い状態が5秒続くと、優先表示管の5が・ E2・を表示する。側定温度(Ts)が設定温度 (Ta)以上になつた時は、蒸気弁(65)を閉 じて加熱を停止する。マイクロコンピュータの111は このような動作を行いながら、整形凹路的からの 50日を又は60日をの電原周波をカウントし、 計時動作も行つている。即ち、設定時間から1分 毎に試算し、洗濯の残り時間を優先表示管の時間 表示部(15s)に表示すると共に、計数中は発 光ダイオード(15c)を1秒周期で点該する。

触器MS-450が動作することにより、脱水モータ(MSが4板で連転される。この時振動スイッチ(107)を調べ、これが作動していれば振動が大きいということでもう一度パランス連転からやりで、中途時間で5例えば2分が超過すると、すずぎ1があるかないかをチェックし、無ければ旧へ飛んで最終脱水へ行く。標準コース1の場合はすずぎ1が有るので、冷水弁(67)が開き給水を開始する。

同時にトルクモータ(69)と於敵モータ吸が動作する。そして低水位スイッチ(99)が作動すると治水弁(67)が閉じ、蒸気弁(63)が開いて加熱が開始される。水温TBが設定値Tェに運すると加點が停止され、すすぎか行われる。すすぎ行程中も水温側定及び計時動作が行われるが、それは洗濯行程中における動作と全く同一である。

すすぎ時間 Q 4 例えば 3 分間が経過すると排水され、パランスー中速脱水を経てすすぎ 2 の行程に移る。すすぎ 2 の行程で商水位スイッチ (1 0

残り時間が D.、即ち洗賴設定時間 Q 0 が経過する と、排水行程を経て中間脱水に移る。

まず排水弁(68)が開いて排水を行い、排水 時間Q1が経過すると、洗濯モータ間は電磁接触 器MS-331により2極に切り変えられ、パラン ス行程に入る。パランス時間Q2は、タイマ回路 220のポリユーム(101)により自由に設定でき るようになつている。タイマ回路四は、マイクロ コンピュータ(11)の出力ポート四からの出力によっ てトランシスタ(102)がオフしてから時計作 動を開始し、コンデンサ(104)に書えられて いた電荷を抵抗(103)より放電し、そのコン デンサ電圧をコンパレータ(105)によりポリ ユーム(101)の電圧と比較して、ポリユーム の電圧の方が高くなつた時に出力TBが低から高 になり、これがゲート(1日6)を通して入力ポ - ト(B)よりマイクロコンピユータ03内に入ること によつて計測される。

パランス時間Q2経過後中速脱水に入る。中速 脱水は、トルクモータ(69)がオフで、電磁接

8)の動作を調べる。これにより水は、洗濯時及びすすぎ1の時よりも高水位まで給水される。すすぎ2→排水→パランス→中速脱水の行程を経てすすぎ3へ移る。すすぎ3では水位はやはり高水位まで給水される。同様にしてすすぎ3も加熱はしたい。すすぎ3が終了すると、排水→パランス→中速脱水を経てのり付け行程に移る。

のり付け行程では、まず給水弁(67)により 低水位まで給水される。ここで所定時間ブザーの が鳴る。ブザー時間は例えば10秒間である。そ の後のり付け弁(64)が開き、のりが洗剤ドラム内に入りのり付けが行われる。のり付け時間の ちは5分間である。のり付け終了後、排水でる。 シスー中速脱水を経て最終の高速脱水に移動する。 連脱水中に振動スイッチ(107)が作動する。 再度パランス運転に戻り、洗濯物の分布を頻動スト する。しかる後中速脱水に戻るが、再度振動ステッチが作動すると、優光表スイッチ(107)が10回作動すると、優光表 示質QSに『B3・を表示し、且つブザーのを嗚動せしめる。

高速脱水に移る時に、プログラムが高速脱水に 設定されているか否かを調べる。標準洗濯コース 1と3の場合にはプログラム中に高速脱水が含ま れているが、標準洗濯コース2の場合には最終脱 水も中速で行われる。

最終脱水中も振動の検出を行い、振動を10回 検出すると前記と同じ表示を行うが、振動を検出 しない時は時間なるだけ運転を行う。 早終脱水が 高速脱水になつている時は、脱水モータ49が2極 運転になる。これは電磁接触器MS-5(54) の作動により行う。高速脱水終了後ブザー200が鳴 つて終了を報知する。終了後再度スタートキー的 を押すと、先に設定したと同じ条件で再運転がで きる。即ちRAM(70)の記憶が消えないので ある。

また設定時に、特殊洗濯キーいのうち弱洗いのキーを押すと、発光ダイオード(83)が点灯し、洗濯、すすぎ1・2・3及びのり付け行程時の洗

操作し、スタートキーINを操作すると、数字キーによつて設定された時間洗濯だけを行う。また脱水キーINを操作した後数字キーINを操作し且つスタートキーINを操作すると、数字キーによつて設定された時間脱水だけを行う。この場合、パランス→中速脱水一高速脱水の順序で切換えて順次高速にしていくのは自動運転の場合と同様である。

電モータ関の反転時間が、右回転3秒→休止7秒 →左回転3秒の繰り返しとなる。また脱水弱のキーを押せば発光ダイオード(84)が点灯し、最終の高速脱水が中速脱水となって設定時間だけで 転される。また加熱中、水温T8が設定温度Ta より10℃以上高くなると警報を出すようにしたが、設定温度が40℃以下の場合には、これより 10℃以上高くなっても特に危険は無いので、警報を出さないようにすることも可能である。

更に蒸気ー温水切換スイッチ(98)を温水側にした場合には、蒸気の場合のように給水後加熱するのではなく、第9図に示すように、給水時に温水弁(66)と冷水弁(67)の作動によりコントロールされる。例えば、温水弁(66)は開きばなして、水温が設定値より高い場合には、冷水弁(67)を開いて設定温度にする方法である。すすぎの場合も同様にコントロールされる。

以上は全自動運転について説明したが、各行程 が終了する毎に運転を停止することも可能である。 例えばドラムキー(4)を操作した後数字キー(4)を

				發		-					
3-5程	#E	鋋	00 8 图关	すずぎょ	中間	すすぎ2 中間 すすぎ3 中間	中國	11हैं3	印度	1100	最終脫水
	が超く	(20s	超	水園(60で)時間水晶(60で) 時間 冷水給水	時間		臣	1122	時間	帝木皓木	時間 丁子芝 時間 冷水給水 時間(7分)
数棒洗褶	1) 国皇	:59)	51.5	数率洗過時間 (25分) (1分)時間 (3分) (1分)時間 (3分) (1分) と同じ (1分)時間 (5分)強股水	(19)	時間(3分)	(19	と同し	เาภ	時間(5分	強咒 大
コース 1 低水位	既水位			低水位		隔水位				低水位	
	強洗い			発売い		存在い				発売い	
	木窟 (35で)	(25)			時間	時間骨水給水	Rillia	時間 打手之			時間(3分)
概學洗過 時間(6分)	時間(59)			_ 6 .)	(19)時間(39)(19) と同じ	(19)	と同じ			给股水
コース2 低水位	年大位					高水位					
	弱疣い					弱洗い		-			
	木随 (40℃)	(20			時間	時間哈木棉木	疆	1522			時間(5分)
概略洗過 時間(10分)	時間(1	09)			199	(19)時間(3分)[19) と同じ	139	と同じ			発配木
コース 3 低水位	低水位					易水红					
	光光で					強洗い			_		
		ļ	İ		1				_	-	-

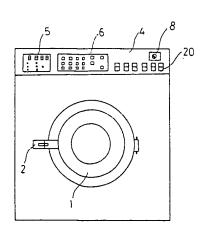
特開昭59- 37988(ア)

4. 図面の簡単な説明

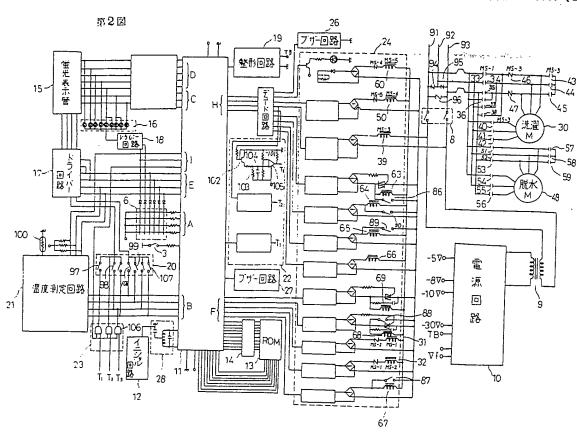
第1図は本発明全目動洗濯機の正面図、 第2図はマイクロコンピュータと操作キーやモータ等との接続関係を示す回路図、第3図はマイクロコンピュータ内の情報の伝速関係を示すブロック図、 第4図は表示装置の正面図、第5図はキーボードスイッチの正面図、第6図は操作キーのマトリックス、第7図は手動運転スイッチの正面図、第8図は所頭の標準洗濯コースを選定する時のフローチャート、第10図は手動運転の場合のフローチャート、第10図は手動運転の場合のフローチャート、第10図は手動運転の場合のフローチャートである。

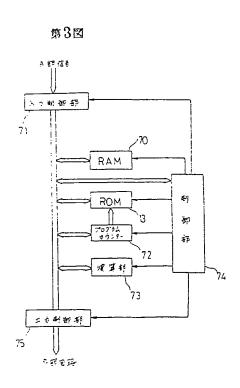
「洗濯」「すすぎ」「のり付け」中に水位が低下し、 がリセットした時 ٩D - パーした場 最終脱水時に板動スイッチ(107)が10回 給水開始後、10分経過しても液面スイッチ 電流機電器の動作又はヒューメ溶断した時 钵 実剤温度が設定温度より10℃オ Æ ロ8)がトリップしない時 制温度が100℃を超えた場 筬面スイッチ (99)、(108) В 铌 けて動作した時 表示 S 2 × Ħ

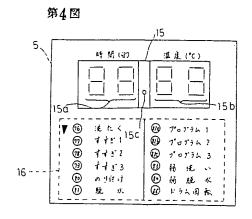
第1図

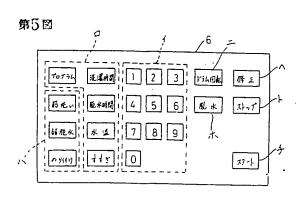


特開昭59-37988(8)

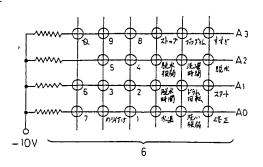


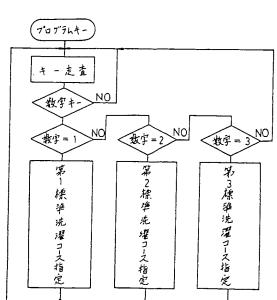




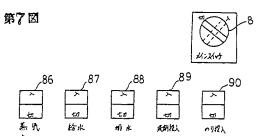


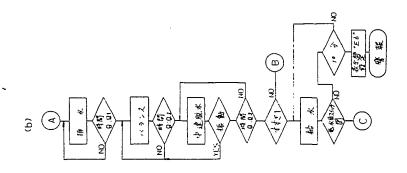


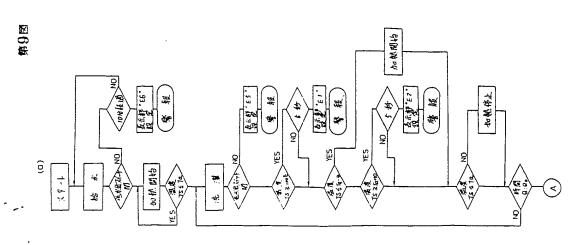


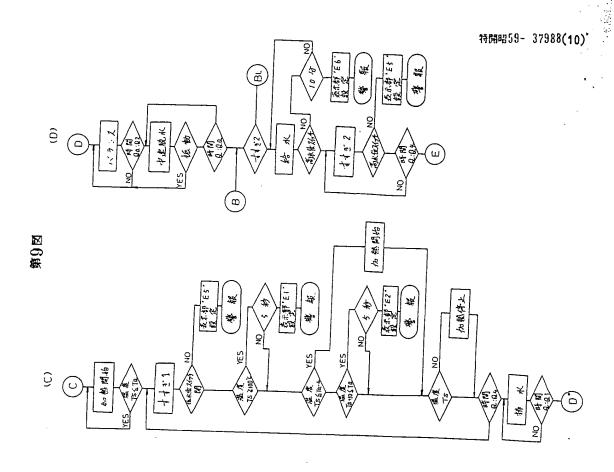


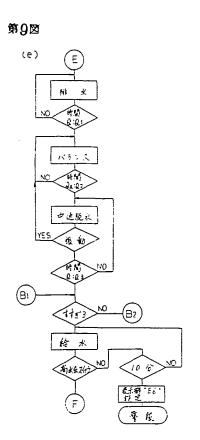
第8図

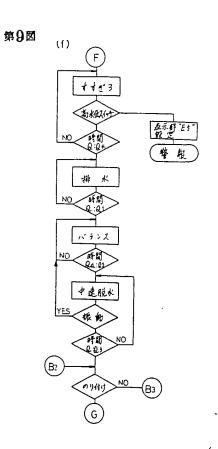


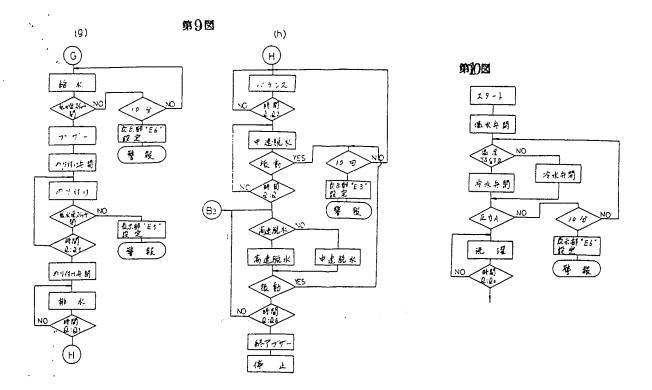












THIS PAGE BLANK (USPTO)